



**日本KFCホールディングス株式会社**

**2021年度-2023年度 中期経営計画**

**『第二の創業 これから50年の持続的成長に向けて』**

2021年4月14日



# グループ中期経営計画骨子

## グループ中期経営計画基本方針

### 1. KFC事業

- 更なる成長の推進 「お客さまに信頼され、愛されるブランドへ」
  - (1) KFCをエブリデイブランドへ
  - (2) もっと近くに、より快適に
  - (3) 「安全・安心なおいしさ」の追求

### 2. グループ事業

- 事業ポートフォリオの拡充
- 資本・業務提携先の企業価値向上（タイKFC事業・BYO社）

### 3. 事業成長の基盤拡充

- (1) DX推進・ITインフラの整備
- (2) 能力開発・ダイバーシティの推進
- (3) 環境保全への取り組み・CSR活動の推進



# グループ中期経営計画基本方針

# グループ中期経営計画基本方針

## 企業理念

## ミッション ステートメント

## おいしさ、しあわせ創造

- 食の「安全・安心」を通じ、人々の健康づくりに寄与し社会に貢献する。
- おいしさを創造し、お客さまに楽しく、豊かで、しあわせな生活を提供する。
- このビジネスで働く人々をしあわせにする。

## 新・中期経営計画 基本方針

「おいしさ、しあわせ創造」の企業理念のもと、環境変化に柔軟かつ迅速に対応しながら、KFC事業を中核とした総合フードサービスグループとして、より一層の成長を目指します。

# グループ利益計画



2018年度～2020年度  
前中期経営計画期間平均  
(2020年度は予測)

2023年度  
計画

売上高	801億円	1,072億円
営業利益	43億円	63億円
当期純利益	—	35億円

配当方針：安定的かつ継続的な配当の実施



# 1. KFC事業

# KFCチェーン目標

## 店舗数の拡大 × 1店舗当たり売上高の増加

2023年度		2020年度比	年平均成長率 (3カ年)
		チェーン売上高	119.3%
	既存店売上高	114.2%	4.5%

2020年度

2023年度 (計画)

チェーン売上高  
(2020年度比)

**1,425億円**  
(2021年2月公表予想)

**1,700億円**  
(+275億円)

**119.3%**

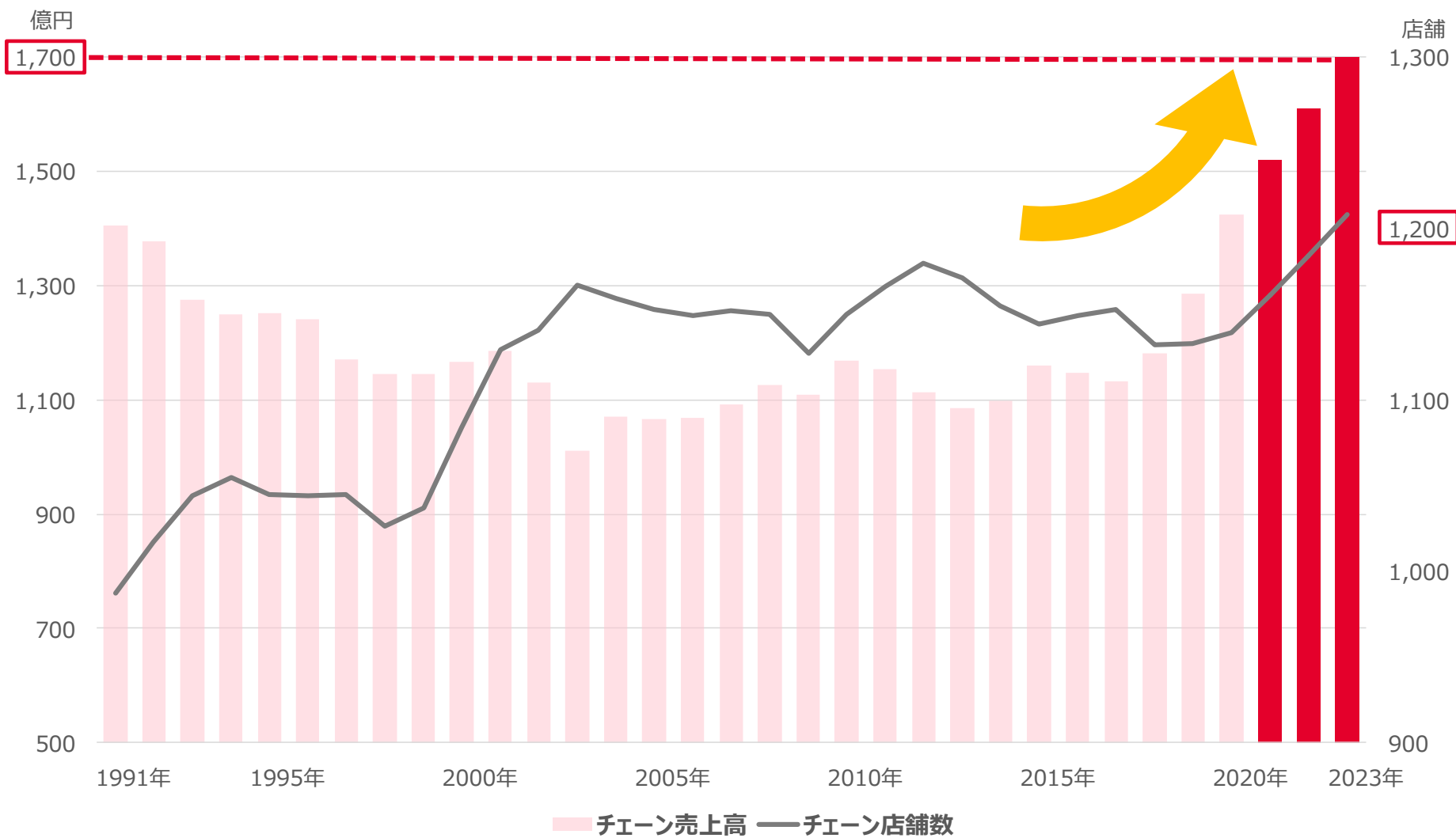
チェーン店舗数  
(2020年度比)

**1,138店舗**  
(2021年3月末)

**1,208店舗**  
(+70店舗)

**新規出店  
129店舗**

# KFCチェーン売上高/店舗数(1991年-2023年)





# お客さまに信頼され、愛されるブランドへ



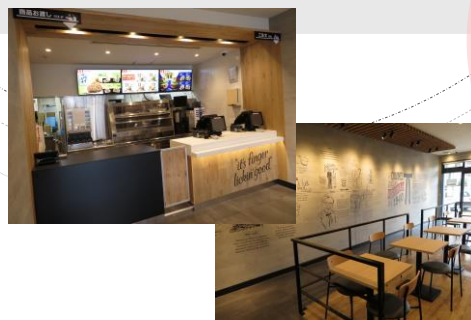
魅力的な商品・  
プロモーション



お客さまの  
体験価値の向上



食の安全・安心  
オペレーションの  
最適化



積極出店  
快適な空間

# (1) KFCをエブリデイブランドへ

KFCファンを増やし、更なる日常化につなげる

## 魅力的な商品・プロモーションの展開

オリジナルチキンを中心とした定番商品の磨きこみ

ランチメニューの充実

あらゆる場面や時間帯のニーズに合った商品・サービスの展開



チキンのスペシャリストとして、お客さまのご期待にこたえる商品・メニューの開発

# (1) KFCをアプリデイブランドへ

お客さまの利便性・快適性の向上

## デリバリー対応の強化



	2019年度 実績	2020年度 実績	2023年度 計画
デリバリー 実施店舗数	220	376	553

## デジタル戦略

スマートデバイスを中心としたデジタルメディアの機能強化により、お客さまの体験価値を高める



KFCアプリ・KFCサイトのリニューアル  
KFCネットオーダーの進化  
データマーケティングの強化

## (2) もっと近くに、より快適に

「近くに店舗があればもっと利用するのに…」というお客さまのニーズに応える

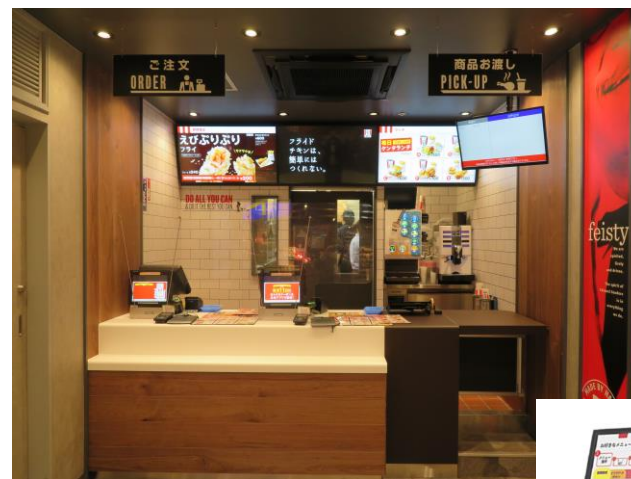
### 積極出店

- レイアウトの工夫等、より柔軟な出店
- 生活様式の変化に対応した店舗の開発
  - 持ち帰り専門小型店舗
  - ドライブスルー店舗の進化



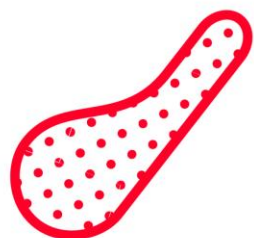
### 快適な空間

- 戦略的改装の推進
- スプリットカウンター、ナンバーディスプレイの導入
- セルフレジの導入



### (3) 「安全・安心なおいしさ」の追求

フードサービスの基本となる「QSC×H活動」の徹底



**Quality**  
(商品の品質)



**Service**  
(サービス)

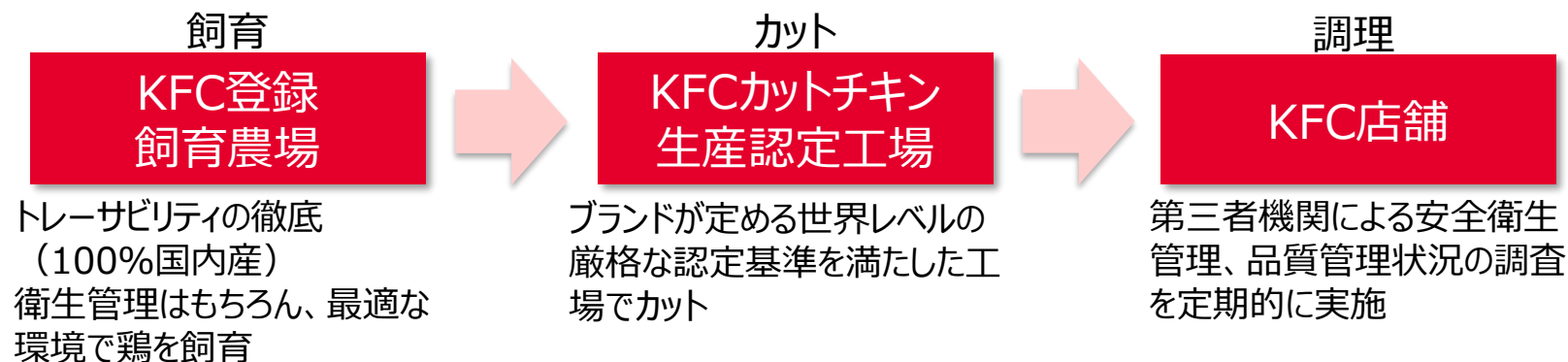


**Cleanliness**  
(清潔さ)



**Hospitality**  
(おもてなしの心)

鶏の飼育から配送、お店での調理に至るまでの、一貫通貫した安全・安心な仕組み



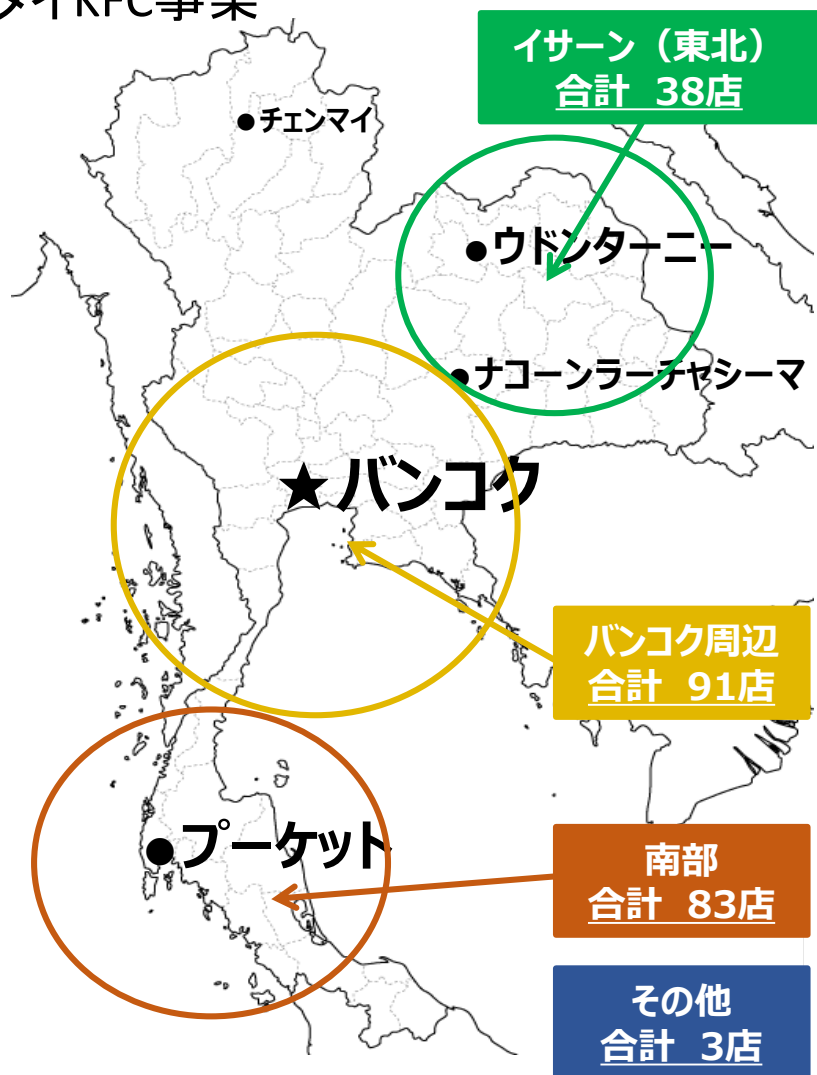


## 2. グループ事業

# 資本・業務提携先の企業価値向上

## Restaurants Development Co., Ltd. (RDCL社)

### タイKFC事業



2016年シンガポールに投資持株会社を設立、同社を通じて共同投資家とタイKFC事業に参画

### 店舗数推移

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 (目標)
169 (+26)	200 (+31)	215 (+15)	238 (+23)

\*括弧内数字は前年対比純増数

(2021年3月31日現在)

# 資本・業務提携先の企業価値向上

## 株式会社ビー・ワイ・オー

2018年3月に25%出資

### ◆「和モダン」和食居酒屋 14店舗



### ◆カジュアルレストラン 54店舗



### ◆ファーストフード・デリ 33店舗



### その他国内 21店舗、台湾 4店舗



**合計126店舗** (2021年3月31日現在)





### **3. 事業成長の基盤拡充**

# (1) DX推進・ITインフラの整備

お客様の体験価値の向上（利便性・快適性の向上）  
従業員の働き方改革の推進、より快適な職場環境の実現

## デジタル戦略

（体験価値の向上、マーケティング強化）

KFCアプリ

KFCネットオーダー

デリバリー

データマーケティング

## IT戦略

（組織文化・業務プロセスの変革）

次期本部システム

次期店舗システム

新インフラ基盤

新しい生活様式

ITガバナンス

DX推進・システム企画開発委員会

## (2) 能力開発・ダイバーシティの推進

### 誰もがいきいきと働ける職場の実現

すべての人の成長・活躍を支える制度の整備

#### 能力開発

- キャリア・ディベロップメント・プログラム（CDP）の継続
- 研修体制の拡充・多様化
- データ活用スキル研修の導入

#### ダイバーシティの推進

- 多様な人財が多様な働き方で活躍できる環境の整備
- 仕事と子育ての両立支援
- 健康経営の推進



くるみん取得（2020年11月認定）



環境変化に迅速かつ適切に対応し、積極的に成長を牽引するチームを目指す

## (3) 環境保全への取り組み・CSR活動の推進

### 限りある資源を大切に

店舗におけるCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた各種取り組みの実施

店舗の油脂ごみを電力として再生する取り組みの拡大

省プラスチック包材による環境負荷の低減



### 地域を支え、人を支える

こども食堂等への  
食材提供活動



フードドライブ





本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は日本KFCホールディングス株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

